

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	938	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	個別事業 消防水利の整備・維持管理	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.2人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	19,048千円 (うち人件費 1,780千円)			
					(変更後)	17,971千円 (うち人件費 1,780千円)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	消防活動に重要な施設である消防水利の効果的な整備及び維持管理を行うことにより、迅速で効果的な消防活動体制を整え、火災等から被害の軽減を図る。				
(3) 事業内容	内容	消防水利の基準に基づき、計画的に消防水利の整備を図るとともに、既設消防水利の維持管理を行う。そのため、経費負担協定に基づき水道事業者と協議を行い、計画的に消火栓の整備を実施、既設消火栓の改良、修繕を実施する。			当該年度執行計画	前年10月：予算編成に合わせ、水道局事業計画に基づき、整備箇所及び改良箇所等の協議を実施。 4月：防火水槽賠償責任保険への加入 12月：所有者に対する消防水利用地賃貸借料の支払い 3月：水道局への経費負担金の支払い 消火栓標示焼付けの実施 随時：不備消防水利の修繕、消防水利データの管理				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	件	想定値	実績値	
当該年度	消防水利の適正管理と計画的な整備を図る。市ホームページ上での消防水利情報の提供。			直接	消防水利の充足率	%		72	73	
令和4年度	消防水利の適正管理と計画的な整備を図る。			直接	消防水利の充足率	%			74	
令和5年度	消防水利の適正管理と計画的な整備を図る。			直接	消防水利の充足率	%			75	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		消火栓維持管理負担金	14,000	消火栓維持管理負担金	14,000	12,334	消火栓維持管理負担金	14,000	消火栓維持管理負担金	14,000
		消火栓表示焼付け	130	消火栓表示焼付け	148	145	消火栓表示焼付け	148	消火栓表示焼付け	148
		防火水槽修繕	200	防火水槽修繕	200	0	防火水槽修繕	200	防火水槽修繕	200
施設賠償責任保険(防火水槽)	19	施設賠償責任保険(防火水槽)	19	19	施設賠償責任保険(防火水槽)	19	施設賠償責任保険(防火水槽)	19		
消防施設土地賃借料	1,332	消防施設土地賃借料	1,313	1,309	消防施設土地賃借料	1,313	消防施設土地賃借料	1,313		
通信運搬費	10	通信運搬費	10	10	通信運搬費	10	通信運搬費	10		
防火水槽解体工事費	1,694	防火水槽解体工事費	1,578	385	防火水槽解体工事費	1,578	防火水槽解体工事費	1,578		
			防火水槽解体工事費(3月補正)	△1,077						
予算(決算)額	合計		17,385	合計		16,191	14,202	合計		17,268
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源		17,385	16,191	14,202	17,268				17,268
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.25	0.2	0.2	0.2				0.2
	正職員人件費		2,175	1,780	1,780	1,780				1,780
	嘱託職員報酬額		0	0	0	0				0
	臨時職員賃金額		0	0	0	0				0
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			19,560	17,971	15,982	19,048				19,048
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			2,445千円/件	2,246.38千円/件	2,663.67					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	消火活動において最も重要な消防水利を確実に確保し、常に良好な状態に維持管理する必要があるため。			●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 災害時に必要な消防水利を確保している。				○要 ●不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他				○要 ●不要		
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			<その他の内容>						
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他			該当なし				○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			実施した具体的な内容				環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他			該当なし				●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成			
	72	73	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 開発行為に伴う新設水利の設置指導を適切に実施した。			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用	□②現有体制での対応 □⑥受益者負担	□③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.41		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 消防水利に関する修繕数が少なかった。			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
						令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	939	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防団体制の強化・充実	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課			
	③事業主体	個別事業 消防団装備品等の整備及び維持管理	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )	⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.24人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	3,290千円 (うち人件費 2,136千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 70203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無			
(2) 目的	施策目的・展開方向	消防団員の確保に取り組むとともに、市民の防火・防災意識を一層高めるため、消防団や女性防火クラブなどの関係機関と連携しながら、各種防火・防災訓練や住宅用火災警報器の設置促進などに努め、地域防災力の強化を図ります。			事業目的	消防団の活動装備品等の整備及び維持管理を行うことにより、消防団の活動を効率的なものにするとともに、安全管理を図ることにより市民の生命と財産を守るという目的に寄与するため。				
(3) 事業内容	内容	消防団の活動用装備品等の整備及び維持管理を行なう。			当該年度執行計画	1 消防団員に対する貸与品の貸与 2 貸与物品等の管理状況の確認 (随時)				
					当該年度活動結果指標	貸与品の貸与件数	単位	件	想定値 35 実績値 35	
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	消防団員の貸与品貸与率の向上を図る。				直接	貸与品の貸与率 (貸与規則貸与物品の充足率)		%	80	85
令和4年度	消防団員の貸与品貸与率の向上を図る。				直接	貸与品の貸与率 (貸与規則貸与物品の充足率)		%		90
令和5年度	消防団員の貸与品貸与率の向上を図る。				直接	貸与品の貸与率 (貸与規則貸与物品の充足率)		%		95
(7) 事業実施上の課題と対応	貸与品を全て規定どおりに整備すること及び耐用年数内に更新を図っていくことが理想であるが、最低限活動に対し、安全管理の向上を目的とした貸与品等を優先的に、計画的に整備していくことで対応を図っていく。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			消耗品費 (貸与品用)	1,011		消耗品費 (貸与品用)	1,069		消耗品費 (貸与品用)	1,069
			備品修繕料	85		備品修繕料	85		備品修繕料	85
		予算(決算)額	合計	1,096	合計	1,154	合計	1,154	合計	1,154
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
	一般財源		1,096		1,154		1,154		1,154	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.34		0.24		0.24		0.24		
	正職員人件費	2,958		2,136		2,136		2,136		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	4,054		3,290		3,290		3,290			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	115.83千円/件		94千円/件		91.6					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
	我孫子市の防災体制の一翼を担う消防団員の安全管理用装備品及び活動用資機材の整備を図る必要があることから。				●事前確認での想定どおり ○事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 地域防災の担い手である消防団員の安全管理用装備品等は、遅延することなく整備する必要がある。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □2市が主導で進めなければ実効性がなかった □3市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □4市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □5サービス水準が確保された □6サービスの安定供給基盤が確保された □7その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市の条例により組織される消防団員の貸与品及び装備品については、市が実施するべきである。		○要 ●不要
	○2自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○1事業計画時に市民の参画有り ○2事業実施時に市民の参画有り ○3管理・運営に市民の参画有り ○4市民の自主的な活動と連携している ○5市民と共同で事業を実施 ●6その他				該当なし		○1当初期待した以上 ●2当初期待したとおり ○3当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□1自然環境を生かしている □2生き物と共存している □3手賀沼を意識している □4環境負荷低減に貢献している ■5その他				該当なし		●1想定どおり ○2想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●1目標値達成 ○2目標値未達成		○要 ●不要
	80	85	■1客観的なデータ・事実に基づき設定している □2現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □3現況値との差が小さい値ではない □4適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新入団員を含めた消防団員からの要望に対して、活動服をはじめとする貸与品を適正に貸与できたため。		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		●1想定事業費未済 ●2概ね想定事業費以内 ○3想定事業費超過		
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	事業費削減率 (%)	●1国・県助成制度活用 ■2現有体制での対応 □3維持管理費の削減策の実施 □4民間委託	□5PFI等民間資本の活用 □6受益者負担 □7その他	実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	●1事前の想定どおり ○2事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>	
18.85		<削減の内容>		<超過理由等>				○要 ●不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○1目標値以上 ●2目標値と同程度 ○3目標値以下		○要 ●不要
	2.58	10万円	●1単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○2複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
2.65		102.71							

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
	令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。									

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (940), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (942), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	943	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	消防本部・警防課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.18人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,782千円 (うち人件費 1,602千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	地震・水災等の大規模災害発生に対応するため、千葉県を含む全国の消防本部との協力及び応援体制を確立する。				
(3) 事業内容	内容	緊急消防援助隊及び千葉県消防広域応援隊として応援・支援計画に伴う出動要請に対応するための資器材を整備し関東及び千葉県隊合同ブロック訓練に参加することで広域での活動のノウハウと資器材使用法を体得し出動要請に対応する。			当該年度執行計画	10月：市防災訓練（大規模災害対応訓練）参加・活動拠点設置訓練 11月：緊急消防援助隊出動要請対応図上訓練・非常召集、初動対応訓練 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練参加 1月：千葉県消防広域応援隊合同訓練参加 3月：緊急消防援助隊出動要請対応図上訓練・非常召集、初動対応訓練				
		当該年度活動結果指標	緊急消防援助隊出動及び訓練参加	単位	回	想定値	3		実績値	0
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	緊急消防援助隊（応援・支援）対応整備を充実させ、安全管理の徹底が図られ効果的な活動が出来る。			直接	緊急消防援助隊応援マニュアル/現在の更新整備状況		%	100	100	
令和4年度	緊急消防援助隊（応援・支援）対応整備を充実させ、安全管理の徹底が図られ効果的な活動が出来る。			直接	緊急消防援助隊応援マニュアル/現在の更新整備状況		%		100	
令和5年度	緊急消防援助隊（応援・支援）対応整備を充実させ、安全管理の徹底が図られ効果的な活動が出来る。			直接	緊急消防援助隊応援マニュアル/現在の更新整備状況		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	資機材や物資の輸送能力の向上を今後の課題として検討していきたい。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		訓練・出動時食糧費	53	訓練・出動時食糧費	77	訓練・出動時食糧費	77	訓練・出動時食糧費	77	
		有料道路使用料	9	有料道路使用料	49	有料道路使用料	50	有料道路使用料	50	
		旅費	28	旅費	40	旅費	44	旅費	44	
燃料費	10	燃料費	9	燃料費	9	燃料費	9			
訓練・出動時食糧費(3月補正)		△77								
予算(決算)額	合計		100	合計		98	合計		180	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		100		98		180		180	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.23		0.18		0.18		0.18		
	正職員人件費	2,001		1,602		1,602		1,602		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,101		1,700		1,602		1,782			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	420.2千円/回		566.67千円/回		0					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	大規模災害に対する広域的な消防体制の構築が進められている中、我孫子市として他市への応援体制及び応援体制の構築が必要であるため。				○①事前確認での想定どおり ●②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ②市が主導で進めなければ実効性がなかった ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ⑤サービス水準が確保された ⑥サービスの安定供給基盤が確保された ⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 千葉県消防広域応援隊及び緊急消防援助隊は、市・県及び国が主体となり確立する必要があるため、市が実施する必要がある。		○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<その他の内容>				○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ●②目標値未達成		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により緊急消防援助隊合同訓練が中止となった		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	5.88	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により緊急消防援助隊合同訓練が中止となった。		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)					評価コメント				
事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向				
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	944	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 消防体制の強化・充実	実施計画への位置づけ		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	消防本部・警防課		
	③事業主体	個別事業 開発行為の指導・協議	④対象地区		<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.18人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,602千円 (うち人件費 1,602千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	火災や水害などの災害から市民の生命と財産を守るため、消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体と連携を図りながら消防体制の強化を図ります。			事業目的	開発行為に伴う消防施設の適正な設置を事業者と協議・指導することによって、消防体制の強化を図る。				
(3) 事業内容	内容	我孫子市開発行為に関する条例に基づいた指導基準により営利を目的とした事業主と開発行為又は、建築行為に関する消防施設の設置について協議し指導を行なう。 ・内容：事業者の申請により事前協議を実施する。 ：事業者の申請により協議書を締結する。 ：消防施設の中間検査・完成検査を実施する。			当該年度執行計画	・事業者との事前協議 ・事業者との協議書締結 ・協議書に基づいて消防施設中間検査 ・協議書に基づいて消防施設完成検査				
		当該年度活動結果指標	開発協議の件数		単位	件	想定値	40		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。			直接	適正に設置された消防施設の整備率		%	100	100	
令和4年度	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。			直接	適正に設置された消防施設の整備率		%		100	
令和5年度	開発行為に関する条例に基づき、指導基準に適合した消防施設の設置を事業者に指導し、安全で安心な住環境を維持する。			直接	適正に設置された消防施設の整備率		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	消防水利設置不能地区への開発及び建築行為申請に対して、指導方法について業者への不利益を最小限に抑えるための対策が必要であり、消防設備の追加設置等による対応について、予防課との検討を進める必要がある。			代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0	開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0	0	開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0	開発行為・建築行為等に伴う消防水利等設置指導	0
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
一般財源		0		0		0		0		
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	
換算人数(人)		0.23		0.18	0.18		0.18		0.18	
正職員人件費		2,001		1,602	1,602		1,602		1,602	
嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0	
臨時職員賃金額		0		0	0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,001		1,602	1,602		1,602		1,602	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		50.03千円/件		40.05千円/件	36.41					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子市開発行為に関する条例に基づく、消防の基準により災害が発生した場合の消防隊の防衛体制を確立させるために必要である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 開発行為や建築行為に対し、消防活動に支障のない消防施設等の設置に係る協議指導が必要であり、想定どおりであった。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 条例に基づき消防活動上の施設及び水利等を確保するため、市が主体で指導を実施した。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 申請件数が当初見込みより多かった。		
	110	110			110	110			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	1,602	399	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		1,602	100	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
19.94									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	6.24	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 申請件数が当初見込みより多かった		
		%	10万円			6.87	110.1		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (945), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価項目, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes current status (e.g., 現状どおり推進) and future directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (949), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.



事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	951	課コード	1003	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 救急・救助体制の強化	個別事業 救命講習会及び応急手当普及員の養成	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	消防本部・警防課						
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	5人 (換算人数)	0.52人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初) 4,697千円 (うち人件費 4,628千円)								
	⑧施策の位置づけ	施策コード	70202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点3	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	救急救助体制を強化・充実するため、人員の養成や装備の増強などに努めるとともに、広域での連携強化を図ります。また、市民自身の救命率を高めるため、応急手当や救命講習などの講習会を充実させていきます。さらに、緊急性のない救急出動については民間の活用を促すとともに、適切な救急要請を行うようPRに努めます。			事業目的	救命率を向上させるためには、その場に居合わせた人(バイスタンダー)による応急手当が必要である。救命講習を充実させ、市民に対し応急手当の知識・技術の向上を図る。又 応急手当普及員を養成し、重要性について普及啓発を図ることを目的とする。							
(3) 事業内容	内容	講習会は、AEDの使用法を含めた心肺蘇生法及び止血法の実技を行う3時間(主に成人に対する普通救命講習Ⅰ) (主に小児、乳児、新生児に対する普通救命講習Ⅱ)と普通救命講習の内容に加え傷病者の管理法、搬送法の実技を行う8時間の上級救命講習、市民の救命講習の導入コースとなる90分の救命入門コースや小学校5年生以上から中学生までを対象とした命の大切さを学ぶ応急手当チャレンジコースを実施すると共に、併せて応急手当普及員の養成に努めます。さらに、eラーニング方式を新たに採用し、講習会の時間短縮を図ることで感染リスクの低減を図ります。			当該年度執行計画	年間救命講習等受講者人数(一般・普通・上級・普及員講習会・応急手当チャレンジコース) ・年間を通じ出前講座及び一般公募等により感染症対策を講じた救命講習を開催します。 ・11月・3月:火災予防運動期間中に消防団員及び女性防火クラブ員を対象に普通救命講習会を開催します。また、実施期間を計画し応急手当普及員の養成をしていきます。							
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	人	想定値	7,500			
当該年度	救急講習への理解を深め、AED等の取扱いを修得し応急手当ができるよう知識・技術の向上及び普及員の養成。幼少期からの育成を図る。				直接	年間救命講習等受講者人数(一般・普通・上級・普及員講習会・応急手当チャレンジコース)	人		実績値	637			
令和4年度	救急講習への理解を深め、AED等の取扱いを修得し応急手当ができるよう知識・技術の向上及び普及員の養成。幼少期からの育成を図る。				直接	年間救命講習等受講者人数(一般・普通・上級・普及員講習会・応急手当チャレンジコース)	人		(5)現況値	8,000			
令和5年度	救急講習への理解を深め、AED等の取扱いを修得し応急手当ができるよう知識・技術の向上及び普及員の養成。幼少期からの育成を図る。				直接	年間救命講習等受講者人数(一般・普通・上級・普及員講習会・応急手当チャレンジコース)	人		(6)目標値	8,000			
(7) 事業実施上の課題と対応	市民に対して行う応急手当普及啓発の目的は、救命のための応急手当の手法を教えることはもちろんのこと、実際の救命現場に居合わせた市民が躊躇なく一次救命処置等を実施することにある。そのためには、受講者に分かり易く、習得しやすい講習会を目指したカリキュラムを作成する必要があり、指導者は、最新の知識、指導技術を習得する必要がある。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		需用費	377	需用費	69	需用費	377	需用費	377				
		備品購入費	199										
救助講習普及啓発を行うパートタイム会計年度任用職員0.6人(事務補助職員)1,985千円×0.6人当初(1,191)減額補正(0)													
予算(決算)額	合計	576	合計	69	合計	377	合計	377					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0				
一般財源		576		69		377		377					
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0					
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.42		0.52		0.52		0.52					
正職員人件費		3,654		4,628		4,628		4,628					
嘱託職員報酬額		0		0		0		0					
臨時職員賃金額		0		0		0		0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		4,230		4,697		4,643		5,005					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		0.56千円/人		0.63千円/人		7.29							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は?(事業の必要性)	突然発症した重篤な傷病者を市民が救急隊の到着するまでの間に応急手当を実施することで、救命率が向上することは科学的根拠に基づき明らかとなっており、実施された場合と実施されなかった場合では、その予後に大きく影響する結果が出ています。このことから、応急手当指導員の養成を図ると共に、市民に応急手当の知識と技術を普及啓発することは、救命効果の更なる向上を図るうえで市の重要な事業となります。				○①事前確認での想定どおり ●②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、開催中止期間が長期に及んだため。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された ■⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		生涯学習部と連携し、広報あびこ等を活用して市民、自治会、NPO法人、事業所等へ応急手当の普及啓発活動を実施している。また、教育委員会と協力して、応急手当普及員養成の推進を図ります。		新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策を定めた、新たな実施要領にて実施することが出来た。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 該当なし		該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か?	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	○①目標値達成 ●②目標値未達成		○要 ●不要
	637	8,000	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)	7.96	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、開催中止が長期に及んだため。		
(2) 事業費削減の工夫をしているか?	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か?(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	170.32		●①単年度の指標: 目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標: (目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、当初予定していた講習会の開催数が大幅に減少し、予算執行額が減少したため。		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)					改善策及び展開方向				
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (952), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (953), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (954), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 改善策及び展開方向. Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (955), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment about the continuation of the project and a plan for integrated advancement.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (957), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (958), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 960 課コード 1003 会計種別 一般会計 予算の種類 □政策 ■経常 □なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防団体制の強化・充実, ②実施計画への位置づけ ●有 ○無, ③事業主体 ●市 ○その他, ④対象地区 □我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 3人 (換算人数 0.15人), ⑦事業費 (人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70203, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし

2. 事業の評価 (DO+CHECK)
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価コメント: 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。
改善策及び展開方向: 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。



事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1533), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO-CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1672), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment about the evaluation process and future improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1674), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 1675 課コード 1003 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

現状どおり推進 拡充 縮小 結合 休止 廃止 事業手法見直し その他(事業完了など)
評価コメント: 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。
改善策及び展開方向: 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1772), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including name, objectives, budget, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2117), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for FY2021-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2173), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価項目, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a checkbox for '現状どおり推進' and a comment box.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 2237 課コード 1003 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②実施計画への位置づけ ●有 ○無, ③事業主体 ○市 ●その他, ④対象地区 ○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市, ⑤事業期間 令和3年度～, ⑥担当職員数 9人 (換算人数 0.45人), ⑦事業費(人件費含む) 総事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 施策コード 70201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり), (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。
改善策及び展開方向: 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。



事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 2238 課コード 1003 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 消防体制の強化・充実, ②事業主体 柏市・我孫子市消防通信指令業務協議会, ③事業期間 ~, ④対象地区 我孫子 天王台 湖北 新木 布佐 全市, ⑤担当職員数 7人 (換算人数 3.61人), ⑥事業費 (人件費含む) 0千円, ⑦当該(開始)年度 (当初) 42,842千円 (うち人件費 32,129千円), (変更後) 千円 (うち人件費 千円), ⑧施策の位置づけ 70201 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり), (4) 環境に配慮して事業を進めているか?, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫をしているか?, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価コメント: 事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。 改善策及び展開方向: 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2239), 課コード (1003), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Contains criteria for necessity, participation, environmental consideration, and goal achievement.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向. Includes a summary of findings and future improvement directions.